（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりぃ～大阪狭山

公表日　2025　年　4 月　25　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・のびのびと運動ができる人数に調整しています。	・活動スペースが広いので、子どもたちが走り回ってしまい、ぶつかったりケガにつながってしまうので、注意喚起が必要である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			段差部分には赤色のテープを貼り、注意喚起を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎クラス活動終了後には消毒用のスプレーを用いて清掃しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7		・メインの活動フロアとは別にクールダウン用の部屋を設けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			全ての職員がPDCAサイクルを意識した業務を行えるように、定期的に面談を実施していきたいと考えています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者からの要望等があった際はその都度職員で共有し話し合いをしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員間話しやすい環境を作って頂いています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		第三者による外部評価は実施していないので、今後実施していくように検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部の研修や社内研修を行っています。PTによる専門的な知識の研修も随時行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		日々の活動でどんな支援が必要なのか課題は何かを共有し確認しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		作成された支援計画を事務所内に掲示し、職員全員が確認できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			発達検査の事業所内での実施が難しいので、保護者様からその結果を伺い、支援計画に反映するようにしていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		発達年齢や今後の成長を保護者様と面談でお話させていただき、必要な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		次の活動ではどんなことをすべきか職員で意見を出し合って決めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		類似した活動が続かないようにしたり、子ども達の状況に合わせて変更したりしています。	提供したプログラムの記録を確認し、次回の利用に反映できるように努めていきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			個別活動も含めて支援計画に反映できるように努めていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		前回の利用時の様子などを共有し、どう支援していくかを話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援計画に沿った内容やその都度の利用児の様子を必ず記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			半年ごとにモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。６か月未満でも、必要に応じて計画の見直しを行っていきたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			管理者と子どもの様子を把握している職員と共に参加できるように努めていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		利用児の通っている園や学校、学童の職員と利用児の様子の共有や支援の統一化をしています。	相談員や保護者との情報共有に加えて関係機関とも連携できるようにしていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		幼稚園やこども園への移行の際には保護者様の承諾を取り、情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		自治体が取り組んでいる支援シート等を使い、支援内容の情報共有を行い、スムーズに移行ができるようにしています。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	7		障がい児通所支援事業者等育成事業を利用するなど、スーパーバイズや助言を受ける機会を作っています。	今年度は実施できなかったので、次年度は利用していく予定です。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・事業所内での活動が多く、外部と関わることが少ない。 ・地域交流のイベントをしていたが、保護者への周知が足りなかった。	イベントプログラムとして、地域の交流ができるように企画運営していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・お迎え時や連絡ノートで利用児の様子を伝えたり聞いたりしています。 ・サービス利用後の保護者との対応時に子どもの様子や状況を伝え、共有しています。状況や課題について保護者と職員が共通理解で出来ていると思います。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		事業所内でのペアレントトレーニングや研修等は行えていないので、保護者に向けた研修等も取り入れていきたいと考えています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7		面談でお話を伺い、子どもや家族の意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		定期的な面談に加え、相談事がある時は随時相談や助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		保護者会は年1回開催しています。きょうだい児の交流も祝日のイベントでできるようにしています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			体制の周知は契約時の説明が主になっているので、対応の体制を掲示するなど周知できるように取り組んでいきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		HPでのブログ、インスタグラム等で活動の様子を伝えています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報が書かれている書類等については事業所内でしっかりと保管し、十分留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		地域の方がイベント等にも参加できるように検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			保護者様にもマニュアルを周知できるように体験時や契約時に伝えていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCPの作成、共有しています。 ・年に２回避難訓練を行っています。最寄りの避難場所までの誘導を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、それを用いて器具の点検等しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	2		保護者には契約時等に重要事項説明書で説明しているが、職員への周知も行っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットが起きたときは報告書を記入してもらい、職員で情報共有を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に虐待防止の研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		今のところ身体拘束を行うようなお子さまはいないのですが、今後必要なお子さまの対応を検討していき、必要な場合は計画に記載し